

編集・執筆



2012年
3月8日
発行予定

日本の宇宙探検

いつの日か本書が、宇宙に憧れや夢を持つ
多くの人々の役に立つことを願って…

本の内容紹介

JAXAの「X」とは、エクスプロレーション (Exploration)、すなわち「探検」を意味する「X」です。ユーリ・ガガーリンによる人類初の宇宙飛行から、半世紀が過ぎました。

次の50年で人類は火星に行けるのか。

宇宙は私たちの日常となるのか。

日本はどう貢献できるのか。

本書は、2011年4月12日からスタートしたJAXA職員有志による「有人宇宙ミッションのミエル化」という活動から生まれ、2つの目的を持って執筆しております。

ひとつめは、今まで世界各国で行われてきた「有人宇宙ミッション」を振り返りながら、日本の実績や実力を把握し、日本の強みを知ってもらうこと。いわば「地図を広げ、現在地を知る」という営みです。

ふたつめは、「目的地を定める」こと。「有人宇宙ミッション」が辿ってきた歴史と、「なぜ人は宇宙に行くのか」「宇宙で何をするのか」という問いの答えを検証した上で、具体的なミッションの計画検討を深めます。

この本をツールとして、日本における「宇宙探検」の未来を、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。



定価：本体476円＋税
(A4判 約80頁 並製本 オールカラー)
ISBN978-4-905427-06-3 C0044
発行・発売：日経印刷(株)出版事業部



contents

「有人宇宙ミッション検討のミエル化」宣言

「有人宇宙ミッション検討のミエル化」活動の歩み

筑波宇宙センター特別公開での活動レポート

[MISSION1] 宇宙航空研究開発機構「JAXA」とは

未来へつなげるJAXAの研究開発

宇宙を身近に体験できる「筑波宇宙センター」

日本の宇宙研究科学者が集う「相模原キャンパス」

JAXAの事業所・施設紹介

[MISSION2] 宇宙について学ぶ

宇宙についてのQ&A

有人宇宙ミッションの歩み

人類が宇宙へ打ち上げたロケットたち

日本人宇宙飛行士の活躍

JAXAの機関誌「JAXA's (ジャクサス)」特別編
注目の有人宇宙ミッションの記事をピックアップ

[MISSION3] なぜ、宇宙を目指すのか

JAXAミエル化マップ ～なぜ宇宙へ行きたいのか？
2011年版

JAXAミエル化マップ ～なぜ宇宙に行きたくないのか？
2011年版/JAXA職員はどう考えている？

- 定価……………本体476円 + 税
- ISBNコード ……ISBN978-4-905427-06-3 C0044
- 装丁……………A4判 約80頁 並製本 オールカラー
- 編著者……………宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
有人宇宙ミッション検討のミエル化チーム

新宇宙飛行士たちの考え

小惑星探査機「はやぶさ」元プロジェクトマネージャー
川口淳一郎教授 インタビュー
太陽系大航海時代への挑戦

宇宙開発委員会・池上委員長が語る、
世界における宇宙開発の現状

[MISSION4] 来たるべき宇宙探検へ向けて

宇宙探検の計画を立てる

私たちは宇宙のどこまで行けるのか

どんな宇宙船で行くか

宇宙へ向かうエンジン、宇宙で使うエンジン

向井千秋宇宙飛行士 インタビュー
日常が“非日常”に変わるとき

宇宙開発で生まれたコト・モノ

毛利衛日本科学未来館 館長・宇宙飛行士 インタビュー
「宇宙探検」が私たちにもたらすもの

編集後記

執筆者紹介

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 有人宇宙ミッション検討の
ミエル化チーム

● 読者対象

- 「宇宙」「ロケット」「宇宙飛行士」に好奇心を掻き立てられる人
- 日々の情報から宇宙に関心を持ち、今まで知らなかった事を知りたいと思う人
- 企業、機関、研究所などでこれから宇宙関連の仕事に就こうとしている人
- これまでのJAXA発行物とは違う企画の本を期待していた人
- 昨今、「JAXA」という言葉をよく耳にするようになった人

● 有人宇宙ミッション検討のミエル化 提案者代表 JAXAシステムズ・エンジニアリング推進室

高橋伸宏

1972年生まれ。早稲田大学・大学院修士課程修了後、1998年NASDA(現 JAXA)入社後、「おりひめ・ひこぼし(ETS-VII)」「小型衛星 μ -LabSat」などの衛星開発・運用に携わる。2005年に「きらり(OICETS)」を打ち上げるため、バイコヌール宇宙基地に滞在。その後、経営企画部で将来の宇宙航空計画検討に携わる。現在、システムズエンジニアリング推進室にて宇宙船の検討等を実施。